

2024 サングラス富士山浮かぶつゆ間晴れ

6月22日 6組瀬戸章嗣

最近の暮らしで、新しい経験があり、2句を詠んだので報告してみたいと思います。

まず今日は、梅雨模様が続いた後の、梅雨間の晴れ日となり、何時も通っている森林公園の富士見場所で、5月末から3週間見なかった富士はどうかと、期待をもって丘を登ったのですが、富士見場所で、西方の丹沢の山並みの向うに見えるはずの富士山は光の関係か、見えず、丹沢の山並みだけが見えました。

そこで、眼鏡に被せて、森では上へ上げていたサングラスを下げて、サングラス越しに見ると、なんと、輪郭さえ見えなかった富士山がくっきり浮かび上がって来たのです。これまで、輪郭がぼやけていたのが、よりはっきり見えることは、経験していたのですが、ゼロから浮き出る感じの富士山を味わうことができ、感激して首題の句を詠みました。

次の句は、長年気管支炎との付き合いで、年一回肺のCT検査をしているのですが、最近の今年の検査で、胸水の溜りが分かり、新しい状況変化について、大学病院での精密検査を受ける紹介状を貰うということがあり、原因可能性として、考えられるものの中には、癌もあると知ったのですが、これに驚かない自分がいることを知って、加齢の成り行きでもあろうかと、心境変化を自覚した次第です。

そして、これを機に、長く関心を持っていた免疫力向上に、本気で取り組んでみようかと思い、医者言うことも聞き、西洋医学をベースにした現代医学には素直に向き合うものの、東洋医学も見直し、結果として、自分が納得できるように対処していこうと思った次第です。

そして、とりあえず、きのこを常食する食生活を始めようと思い、次の句を詠みました。

2024 入梅や肺の警鐘きのこ食う

以上。